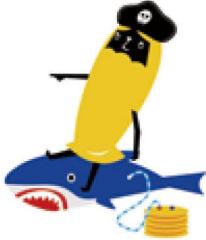


中小企業の 経営支援に関する取り組み



第4期いいしん未来塾



経営改善支援への取り組み状況

当金庫の支援活動は2004年度より実施しており、2019年度は32先を経営改善支援先と定め当金庫本部担当者1名と営業店長と連携して訪問しました。外部機関の活用としては、3先の支援企業に対して中小企業庁のミラサポ専門家派遣を実施し、複数回同行訪問を行い経営改善支援に取り組みました。

また、2012年11月より審査部内に企業支援グループを設置し、企業訪問を行い問題点や課題についての経営改善支援の強化を行っています。

経営改善支援等の取組み実績【2019年4月～2020年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数	うち経営改善支援取組み先数			経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率		
		αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	αのうち再生計画を策定した先数					
		A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先	①	2,213	0		0	0	0.0%		0.0%
要注意先	うちその他要注意先 ②	426	22	1	20	11	5.2%	4.5%	50.0%
	うち要管理先 ③	8	1	0	1	0	12.5%	0.0%	0.0%
破綻懸念先	④	65	9	0	7	7	13.8%	0.0%	77.8%
実質破綻先	⑤	59	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
破綻先	⑥	17	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
小計(②～⑥の計)	⑦	575	32	1	28	18	5.6%	3.1%	56.3%
合計(①+⑦)		2,788	32	1	28	18	1.1%	3.1%	56.3%

(注)

- 期初債務者数及び債務者区分は2019年4月当初時点で整理
- 債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
- βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。
- 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。
- 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理した。
- 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
- γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
- みなし正常先については正常先の債務者数に計上した。
- 「再生計画を策定した先数δ」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

項目	2019年度
新規に無保証で融資した件数	75件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	10.96%
保証契約を解除した件数	2件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件

若手経営者セミナー「いいしん未来塾」の開催

いいしんでは、地域を担う若手経営者・次世代経営者たちの育成・経営力アップ等を目的とした「いいしん未来塾」を2016年度より開催しております。

第4期となる2019年度は、5名のいいしん職員を含む36名の受講生で年間5講座を開講しました。

開催日	テーマ・内容
第1講 2019年7月25日	自社の存続・成長を支えるものは何か?
第2講 2019年8月21日	戦略立案①SWOT分析と事業ドメインの再定義
第3講 2019年9月27日	戦略立案②中小企業の為の差別化戦略
第4講 2019年10月17日	計画を実行できる組織作り～働き甲斐のある会社の創り方～
第5講 2019年11月14日	経営者の会計思考と当講座の総括

2019年8月に「いいしんビジネスクラブ未来」を設立

いいしん未来塾において繋がりを持った若手経営者・次世代経営者の方々が継続的な接点を持ち、それぞれの事業の発展と地域経済の活性化に寄与することを目的として、いいしん未来塾の卒業生からなる会員組織「いいしんビジネスクラブ未来」を設立しました。

第3期までの卒業生のうち、55名の方が加入され、2019年8月28日にグランドベルズ飯塚において発足式を開催。その後に第4期いいしん未来塾が終了し、その卒業生から13名が新たに加入されました。

さまざまな課題解決に向けた経営セミナーの開催や卒業生同士の交流の機会創出、補助金情報や経営に役立つ各種情報の提供を行ってまいります。



「中小企業会計啓発・普及セミナー」を開催

2019年9月25日と10月9日に、飯塚商工会議所・中小企業基盤整備機構・飯塚法人会との共催で「中小企業会計啓発・普及セミナー」を開催しました。当金庫からは、取引先28名が参加されました。



知財(開放特許)のビジネスマッチング支援

中小企業知的財産支援力強化事業として、九州北部信用金庫協会管内（福岡・佐賀・長崎3県）の13金庫で“しんきん知財コーディネーターズ”を組織し、大手企業の休眠特許を活用して地域の取引先が抱える課題の解決や新しい商品開発などに役立てる取組みを実施しました。

大企業が持つ開放特許には、中小企業にとって利用価値の高いものが数多く存在しており、知見を持つ専門家との伴走支援により、当金庫からは2社が参加されました。



「第5回しんきん合同商談会」へ参加

福岡県・佐賀県・長崎県にある全13金庫でつくる「九州北部信用金庫協会」が主催の「第5回しんきん合同商談会」に参加し、多くの商談、マッチングが行われました。

当金庫からは、25先のお客さまが出展され、当庫職員も商談のお手伝いをいたしました。

開催日 2019年11月7日 会場 マリンメッセ福岡（福岡市）
出展企業数 438先（過去最高） 来場者数 6,421名（過去最高）



コンサルティング機能発揮のための人材教育

企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成を目的として、2019年度は全国信用金庫協会主催の中小企業支援講座に2名、事業性評価養成講座に2名、融資推進講座に2名受講しました。

また、融資能力向上と債権法改正および経営者保証のガイドライン特則等に対応できるよう年4回、事例等を活用した勉強会を開催しました。

